

令和3年度 経営発達支援計画事業報告に係る評価・意見書

評価年月日 令和4年10月31日

お名前

評価基準

- A：目標を達成することができた。(100%以上)
- B：目標を概ね達成することができた。(80%以上～100%未満)
- C：目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%以上～80%未満)
- D：目標をほとんど達成することができなかった。(30%未満)
- E：未実施

I. 経営発達支援事業の内容	評価	評価・意見(改善点等)
1. 地域の経済動向調査に関する事	A	目標をすべて達成しているため、BではなくAではないかと思ひます。
2. 経営状況の分析に関する事	C	巡回・窓口相談件数は、達成率が92%であるが、他の項目の達成率は26%～70%であるため、BではなくCではないかと思ひます。
3. 事業計画策定支援に関する事	A	目標よりも実績が上回っているため、Aではないかと思ひます。 ただし、当初の経営発達支援計画では、各種補助金を受ける手段としての事業計画の策定のみではなく事業計画策定の意義や重要性についてセミナーの開催等で啓発していくとあるが、これについての実績が無い(未記載)のは残念です。

4. 事業計画策定後の実施支援に関する こと	B	1項目を以外は全て実績が目標を上回っているため、Bではないかと思ひます。 フォローアップ頻度が極端に少ないのは、計画達成したためか若しくは年度後半に計画策定したためか不明だが、低調な数字であるので、事業が計画策定で終わらないように積極的なアフターフォローが必要であると思ひます。
5. 需要動向調査に関する こと	E	未実施のため、Eではないかと思ひます。 2年連続で実績0では、昨年の委員評価が生かされていない。コロナ禍を理由とした未実施は残念です。事業者はむしろ困っており、待ったなしで動く必要があると思ひます。
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業 に関する こと	D	目標をほとんど達成していないため、Dではないかと思ひます。 With コロナやDX時代を見据え、事業者がオンライン商談会へ参加しやすい環境づくりや啓発に努めていただきたい。
II. 地域経済の活性化に資する取組み	評価	評価・意見（改善点等）
1. 地域経済の活性化に資する取組み に関する こと	C	新型コロナの影響で思ふような事業が出来なかったとのことであるため、Cではないかと思ひます。
III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み	評価	評価・意見（改善点等）
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する こと	D	未開催の事項が多いため、Dではないかと思ひます。

2. 経営指導員等の資質向上等に関する こと	C	新型コロナの影響で外部研修会への職員派遣は計画通りには出来なかったが、WEB研修には参加させることができたため、Cではないかと思ひます。
---------------------------	---	--

総 評
<p>昨年の委員評価内容を踏まえた事業実施がなされておらず、今回の委員評価の内容を十分に把握・分析し次年度の事業を実施していただきたい。コロナの感染拡大期等で急遽開催ができない場合もあるが、経営課題を抱え支援を必要とする事業者は増える時期でもあるため、倉吉商工会議所版BCPといった視点で事業実施の工夫が必要ではないかと思ひます。</p> <p>また、支援する側の倉吉商工会議所の職員の資質が、事業者支援に直接影響するものと思われるため、資質向上が急務であると思ひます。</p>

令和3年度 経営発達支援計画事業報告に係る評価・意見書

評価年月日 令和4年10月31日

お名前 _____

評価基準

- A：目標を達成することができた。(100%以上)
- B：目標を概ね達成することができた。(80%以上～100%未満)
- C：目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%以上～80%未満)
- D：目標をほとんど達成することができなかった。(30%未満)
- E：未実施

I. 経営発達支援事業の内容	評価	評価・意見(改善点等)
1. 地域の経済動向調査に関する事	B	情報の提供はできたが、効果検証に課題が残る。 情報提供のみに終始していないか。
2. 経営状況の分析に関する事	C	巡回・窓口相談件数が未達 セミナー開催回数及び参加者数も未達 オンライン面接等やり方に工夫が必要ではないか。
3. 事業計画策定支援に関する事	B	目標達成でありB評価とする。
4. 事業計画策定後の実施支援に関する事	C	フォローアップ頻度が大幅未達 経営指導員のスキルだけでは解決できない課題については、外部専門家への積極的な取次が必要ではないか。

5. 需要動向調査に関すること	E	実績ゼロ 至急改善を要します。
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	E	実績ゼロ 至急改善を要します。
II. 地域経済の活性化に資する取組み	評価	評価・意見（改善点等）
1. 地域経済の活性化に資する取組みに関すること	D	チャレンジショップ事業については、年2回の開催では十分なフォローができていないのではないかと。
III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み	評価	評価・意見（改善点等）
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	E	他の支援機関との連携及び情報交換の機会があるにも関わらず、活用されていない。
2. 経営指導員等の資質向上等に関すること	D	未受講者が発生する等研修受講の進捗管理ができていない。

総 評
<p>コロナ感染症のため活動に制約があったことは否めないが、「コロナのため活動できなかった」と結論付けている項目が多かった。コロナ禍での取組に工夫を凝らした点が見られなかった。</p> <p>評価実施が、令和4年度下期の10月までずれ込むのは如何なものか。他の機関においては、3月までの当該年度内に実施している。改善をお願いします。</p> <p>令和3年度の総合評価は、「D評価」とする。</p>

令和3年度 経営発達支援計画事業報告に係る評価・意見書

評価年月日 令和4年10月31日

お名前 _____

評価基準

- A：目標を達成することができた。(100%以上)
- B：目標を概ね達成することができた。(80%以上～100%未満)
- C：目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%以上～80%未満)
- D：目標をほとんど達成することができなかった。(30%未満)
- E：未実施

I. 経営発達支援事業の内容	評価	評価・意見（改善点等）
1. 地域の経済動向調査に関すること	B	<ul style="list-style-type: none"> ・HPでの公開は当然であるが、広報誌への公開も会員には役立つ。 ・こちらの不勉強もあるが、全体的に事業報告書は、審査員が知りたいことが記載されていない。 <li style="padding-left: 20px;">[例] 独自調査項目は、なぜそれを取り上げたのかという狙い、分析・発表・コメント等 <li style="padding-left: 20px;">[例] 数値評価も大事だが、何故その数値を設定したのか <li style="padding-left: 20px;">[例] 小規模に情報を届け、どのような変化が生じたのか、巡回時に聞き取り、今後の支援に役立てる。 ・次年度の見直し案 <li style="padding-left: 20px;">物価高、円安の影響、日銀の金融政策の変更（金利高、コロナで腹いっぱい借入している企業）に伴う対策等、働き方改革の副業・兼業の意向調査、ジョブ制度に対する考え方など、課題は多い。
2. 経営状況の分析に関すること	B	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値は延べ件数であるが、支援事業所件数、小規模事業者との比率があると良い。

		<ul style="list-style-type: none"> ・WEB時代、オンライン化は進んで行く。小規模事業者数とZOOM、WEBEX等の操作ができる事業所数、低ければ、操作支援も必要。 ・繰り返し閲覧できる対策も必要。
3. 事業計画策定支援に関すること	A	<ul style="list-style-type: none"> ・補助事業申請支援、独自事業計画支援、外部専門家と分けてあるとより内容が見えてくる。 ・アクションプラン支援件数もあるとよい。
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること	C	<ul style="list-style-type: none"> ・アクションプランを策定支援、情報共有、それに基づく進捗チェック、変更した場合の共有、その支援と確認など、目的、目標は何かをきちんとしていくとよい。
5. 需要動向調査に関すること	E	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取短期大学との関係が有り、関係する学科もあり、モニター制度を設けて、その人たちの意見を活用する道をつくる。 ・短大とオンラインでもできる。
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	D	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に翌年度のイベントカレンダーを作成、随時加えていくなど、的確な情報をタイムリーに届け小規模事業者等へ役立てる。
Ⅱ. 地域経済の活性化に資する取組み	評価	評価・意見（改善点等）
1. 地域経済の活性化に資する取組みに関すること	C	地域資源の棚卸と現代化、組み合わせ・シナジー効果で魅力アップしていくこと。
Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み	評価	評価・意見（改善点等）
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	D	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換の目標と内容があるとわかりやすい。
2. 経営指導員等の資質向上等に関すること	C	<ul style="list-style-type: none"> ・人財がすべて。目標人財、とりわけデジタル対応人財の確保、現状のスタッフの棚卸して、スキルマップ、個別計画、計画的に人財を育成していく仕組みが前提となる。

総 評

※経営発達支援計画の求められる内容レベルが判らないので、判断がつきにくい。報告書は定量評価が中心となっていますが、全体的に数量に対する言葉のコメントが少し弱いと感じます。数量に掲げた狙いや目標をもう少し具体的に記載してあれば、定量評価もしやすいと思います。

※どうしたら達成できるか、コロナに責任転嫁しない方法こそ大事だと思います。環境は変わっていくので、目的・目標を睨みP D C Aを回せるような報告書・見える化があればよりいいと思います。事務局もやることははっきりすると思います。